



『SDGs』の目標3・16に
貢献します。

全国のイトーヨーカドーの店舗で12月1日(火)から

『新型コロナウイルス感染症等医療従事者支援』のレジ横募金を開始

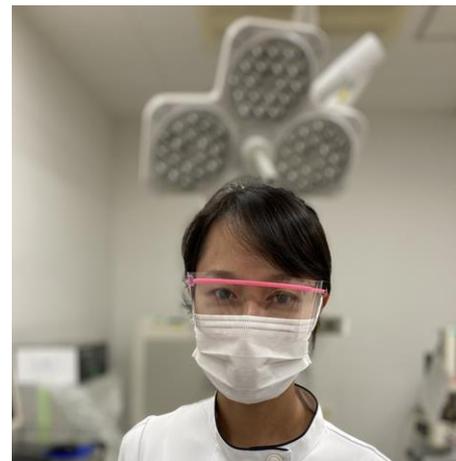
株式会社イトーヨーカ堂（代表取締役社長：三枝 富博、以下：イトーヨーカドー）は、2020年12月1日（火）～2021年2月28日（日）の3か月間、全国のイトーヨーカドー全店舗の会計レジにて『新型コロナウイルス感染症等医療従事者支援』のための募金を実施いたします※。（※セルフレジ等、一部設置不可のレジを除く。）

株式会社セブン&アイ・ホールディングスは2020年4月17日（金）～5月31日（日）に新型コロナウイルス感染対策の支援募金を実施し、日本財団に1億1,829万円の寄付をいたしました。寄付は、医療従事者の防護やケア及び院内のゾーニング、感染防止体制の強化のための資機材購入や複合災害に対応するための検査機器を積載したドクターカーなどの購入費用の一部として128病院（※）で活用されています。128病院の希望した機材は、順次納品されていますが、2021年5月以降に納品される器材の使い方などの研修費用として、今回のレジ横募金の費用が充当されます。

※本支援は日本救急医学指導医指定施設（全国139施設）を対象に7月上旬に公募を行い、ご申請を頂いた施設のうち、新型コロナウイルス感染者の入院診療ないし外来診療を積極的に行っている128施設（全国36都道府県）に決定しました。

当社では、国内のGMS（総合スーパー）として、初めて全国のイトーヨーカドー全店舗の会計レジに募金箱を通年設置し、年間を通じてお客様・従業員への募金を呼び掛ける活動を行っております。この募金は3か月単位で様々な社会課題の解決への一助になるテーマを決めて実施してまいります。

<展開事例>



【レジの募金箱：イトーヨーカドー】 【店内ポスター：イトーヨーカドー】 【PCR検査を実施する医療従事者】

イトーヨーカドーは、一つの社会的課題に偏らず、様々な分野への課題に向き合っており、今後もお客様・従業員と共に事業活動を通じた社会的課題を解決する活動を行ってまいります。

以上